

『聖書と精神医療研究会』 2019年度シンポジウム

6月22日(土) 15時より

(13時30分より研究会員による総会が行われます。)

テーマ「発達障害について考える～こころと関わり、こころを育てる～」

講師：岩本陽子氏

(臨床発達心理士、自閉症スペクトラム支援士)

内容：岩本陽子氏による講演とパネルディスカッション

岩本陽子氏・プロフィール：埼玉県秩父市出身。

白百合女子大学 文学部 国文学科 及び児童文化学科発達心理学専攻卒業

白百合女子大学大学院 修士課程 発達心理学専攻修了

講師の岩本陽子氏は臨床発達心理士、自閉症スペクトラム支援士の他、保育士、幼稚園教諭の資格を持ちつつ、現在は調布聖書バプテスト教会付属こひつじ幼児園において心理相談及び個別指導、公立小学校において通級アドバイザー、さらに区立保健センターにおいて定期健診・心理相談の働きをされています。

会場:幕張聖書バプテスト教会

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町 4-627

TEL 043-273-1737



シンポジウムはどなたでも御参加できます。

幼児と共に講演を聞くことができる母子室があります。

参加費は無料ですが、席上献金をいたします。

また当日は研究会ジャーナル等の物販販売を行ないます。

2019年度・聖書と精神医療研究会の活動予定

年間研究テーマ「発達障害～人間関係における教会の課題」

研究会の日時・場所等は聖書と精神医療研究会のホームページ等で確認してください。

URL [聖書と精神医療.com](http://www.seishu-mental.com) 上山 (043-273-1737)

「聖書と精神医療研究会」の紹介

Society Guide



設立趣意書

イエス・キリストの福音は人のたましいを救うと同時にその人にこころとからだの全人(whole person)的いやしをもたらします。こころ病む人々にはいやしと解放の福音となります。その一方で今日の精神医学は特に生物学的精神医学において大きな進歩を見、それとともに保健福祉の面における支援体制も徐々に整備されつつあり、長く差別と偏見のもとにあったこころ病む人々にとっては大きな光がさしこんできました。これら現代医療の貢献にわたしたちは注目すべきでしょう。キリスト教界においてもこの現代医療と全人的福音の相互協力の必要がますます認識されるようになってきました。

そして今日、日本の福音主義キリスト教会が直面する最大の課題の一つはこうしたこころ病む人々に対するコミットメントであろうと思われます。近年教会にこころ病む人々に対する重荷が与えられ、数々の運動が起りつつあることは喜ばしいかぎりです。わたしたちはこうした動きに大いに賛同します。しかしながら、わたしたちはもう一つ明確な認識に立ちつつここに新たな動きを始めようとしています。

それは第一に精神医療の研究において、精神医学・心理学における聖書の首位性の主張です。「聖書は誤りのない神のことばである」との認識に立つわたしたちは、聖書と精神医学・心理学の統合でなく、聖書の真理を精神医学、心理学においても実証しようとするものです。つまり福音主義キリスト教の立場から「聖書的精神医学」、「聖書的カウンセリング」の追究をしようとするものです。

第二にわたしたちはまた、ただ単に学問研究にとどまることなく日本における福音主義キリスト教会に仕えることを使命として、セミナー・シンポジウム等の教育、医療・カウンセリング等のサービスの提供など実践運動を起こそうとするものです。わたしたちの働きは教会の必要に答えるものであることを最優先の課題としたいと思います。わたしたちはこうした実践活動が従来個人参加の傾向があった事実を認め、教会全体の働きとして進められることを願っています。そして医療・カウンセリングがこころ病む現代日本の社会に対する教会の宣教の有力な手段としてキリストの栄光のために用いられることを願っています。

以上の認識に立ちつつここに「聖書と精神医療研究会」の設立を願うものです。神学・牧会関係者、精神医療・心理学関係者、社会福祉関係者その他幅広い方面からわたしたちの趣旨に賛同する方々の参加を広く求めます。

1996年4月29日

聖書と精神医療研究会